

野田市立あおい空指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年5月30日（火）午前11時から午前11時20分まで
開催場所 市役所 2階 中会議室1
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、保健福祉部次長、行政管理課長、管財課長、障がい者支援課長
欠席委員 なし
事務局 障がい者支援課、行政管理課

1 開会

＜委員長より開会の言葉＞

2 議事

平成28年度野田市立あおい空業務報告書及び平成29年度野田市立あおい空業務計画書の審査について

＜事務局より平成28年度野田市立あおい空業務報告書及び平成29年度野田市立あおい空業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞

○報告書14ページの収支状況報告の支出の教育娯楽費が、予算額の約155%となっているが、その理由は何か。

→報告書11ページの年度事業報告にある個別外出の際の付添職員の交通費や施設入場料になる。平成28年度は、セブンパークアリオ柏、すみだ水族館、イクスピアリに行っているが、人が多く集まる場所であるため、付添職員を増やすことにより、交通費や施設入場料が増加した。

○人件費の精算は、協定書に書いてあるのか。

→年度協定書の第5条における「疑義等の決定」において、法人側と協議し精算した。

○報告書8ページの人員配置で、欠員が生じているが、どのように募集していたのか。また、採用できなかった理由は何か。

→募集方法としては、ハローワークに求人登録、新聞折込求人、人材紹介会社主催職場見学会出席及びインターネットへの求人掲載をしている。採用できなかった理由としては、通所施設だと思ってきたが、利用者が重度の障がいの方なので、躊躇された方もおり、日中一時と短期入所を行っている関係で勤務時間が変則的

であることや、夜勤はできないなどがある。なお、法人で求人を出すと、高齢者施設の勤務希望になることが多い。

○報告書 12 ページの施設の利用状況報告について、日中一時支援の利用者が昨年度より減っている。職員の欠員が出たことにより、利用制限が生じたことはなかったか。

→実際の利用者が減ったためであり、職員の欠員による利用制限は生じていない。職員の欠員はあったが、法人本部やあおい空の職員全体でフォローして支援を行った。

○報告書 15 ページの収支状況報告のその他の明細について、器具什器費の差額が生じた理由は何か。また、固定資産支出は何の経費か。

→器具什器費の差額は、入浴用リフトネットの交換、防犯用インターホンの購入による。固定資産支出は、部屋で映像を映すスヌーズレン用品を購入し、リラクゼーション活動に活用している。

○報告書 2 ページの⑪現金の取り扱いの中「法人による内部経理監査等のチェックが行われている。」とあるが、具体的な内容は何か。

→法人内部に経理監査委員を 3 人設け、年 1 回帳簿等の確認を行っている。

○計画書 4 ページの委託実施計画について、リフト保守点検及び自動ドア保守点検の点検回数は何回か。また、日頃職員はどのように点検し、安全を確認しているのか。

→リフト保守点検は年 1 回、自動ドア保守点検は年 2 回 (半年に 1 回) 行っている。日頃職員は、異音がしないか、正常に作動するかを確認しながら使用している。その他、車椅子のブレーキ、壁のひび割れ、手摺、トイレのコール等の項目は、チェックリストを作成し、確認している。

○計画書 10 ページの収支計画について、教養娯楽費が 29 年度予算で 18 万円の増となっているが、その内容は何か。

→教育娯楽費の主なものは、個別外出の際の付添職員の交通費や施設入場料になる。付添職員を増やして、手厚いサービスを行いたいと考えている。

○計画書 10 ページの収支計画について、印刷製本費が昨年度実績額 33,776 円より増額した理由は何か。

→コピー代になる。平成 28 年度までは、コピー機の借り上げ料に含んでいたため、賃借料で計上していたが、平成 29 年度は、コピー代を印刷製本費で計上した。

○計画書４ページの委託実施計画に記載のある業務の委託業者の選定はどのように行っているか。

→見積を市内業者に配慮しつつ、数社から徴し、安価な業者を選定している。

＜審議の結果＞

平成２８年度野田市立あおい空業務報告書及び平成２９年度野田市立あおい空業務報告書について承認

３ 閉会